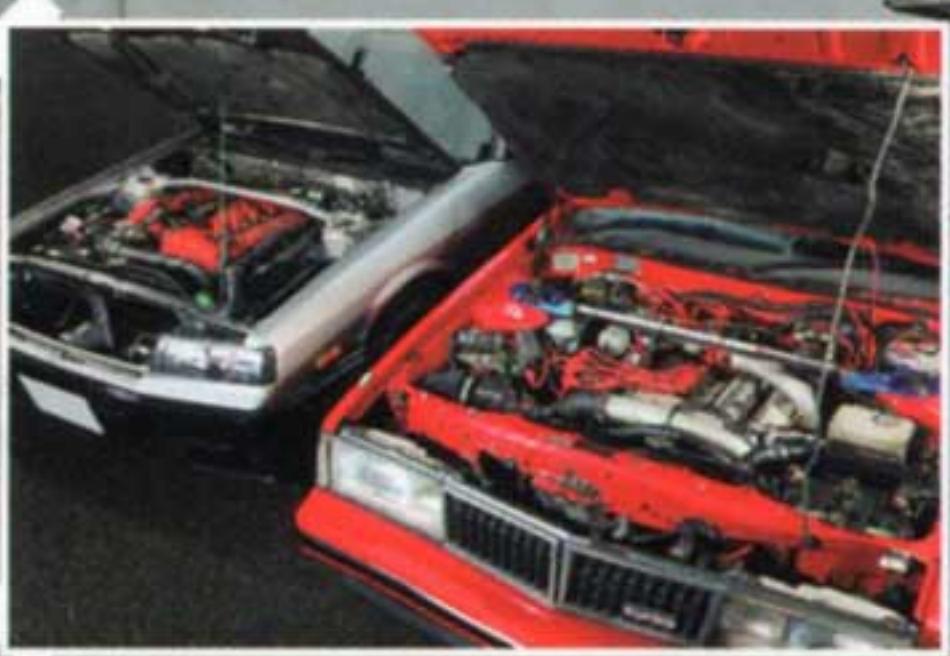


# VintageStyle

SAKURA MOOK 74

ビンテージスタイル

特集



ザ・バトル!



## 旧車名エンジン 徹底比較

L型とS20 対決

ハコスカ 編

L型はノーマルか  
チューンか

ケンメリ 編

C-10



昭和のスーパークーパー

フェラーリ365GT4/BB

異種対決

CB1100Rとソアラ

旧車ユーザー登場

117クーペ / ギャランGTO / セリカorTE27レビン

NISSAN SKYLINE

TOYOTA1600GT

MITSUBISHI COLT

MITSUBISHI GALANT GTO

FERRARI365GT4/BB

TOYOTA COLLORA LEVIN

NISSAN FAIRLADY Z

TOYOTA CORONACOUPE

ISUZU117COUPE

TOYOTA CELICA

HONDA CB1100R

ISUZU BELLETT1600GTR

PRINCE SKYLINE

NISSAN SUNNY

TOYOTA SOARA

HONDA VAMOS

EUNOS RODSTER



# ハコスカ対決

S20 ノーマル

NISSAN SKYLINE HARDTOP 2000GT-R

国産旧車における人気ナンバー1の座に君臨して以来、変わらぬ指示を集めるハコスカ。輝かしいツーリングカーレース50連勝を果たしたことで決定づけられた国産最速のクルマでなければならないというカルマを負ったのがハコスカだった。その頂点であるDOHCエンジンを搭載するGT-Rには今も昔も変わらぬ価値があるが、チューニングしたL型や新世代RB型エンジンに載せて楽しめることも確か。あくまで純正のGT-Rを味わうのとモディファイして遊ぶことの違いはなんだろう?



RB25DE改

NISSAN SKYLINE HARDTOP 2000GT RB MODIFY

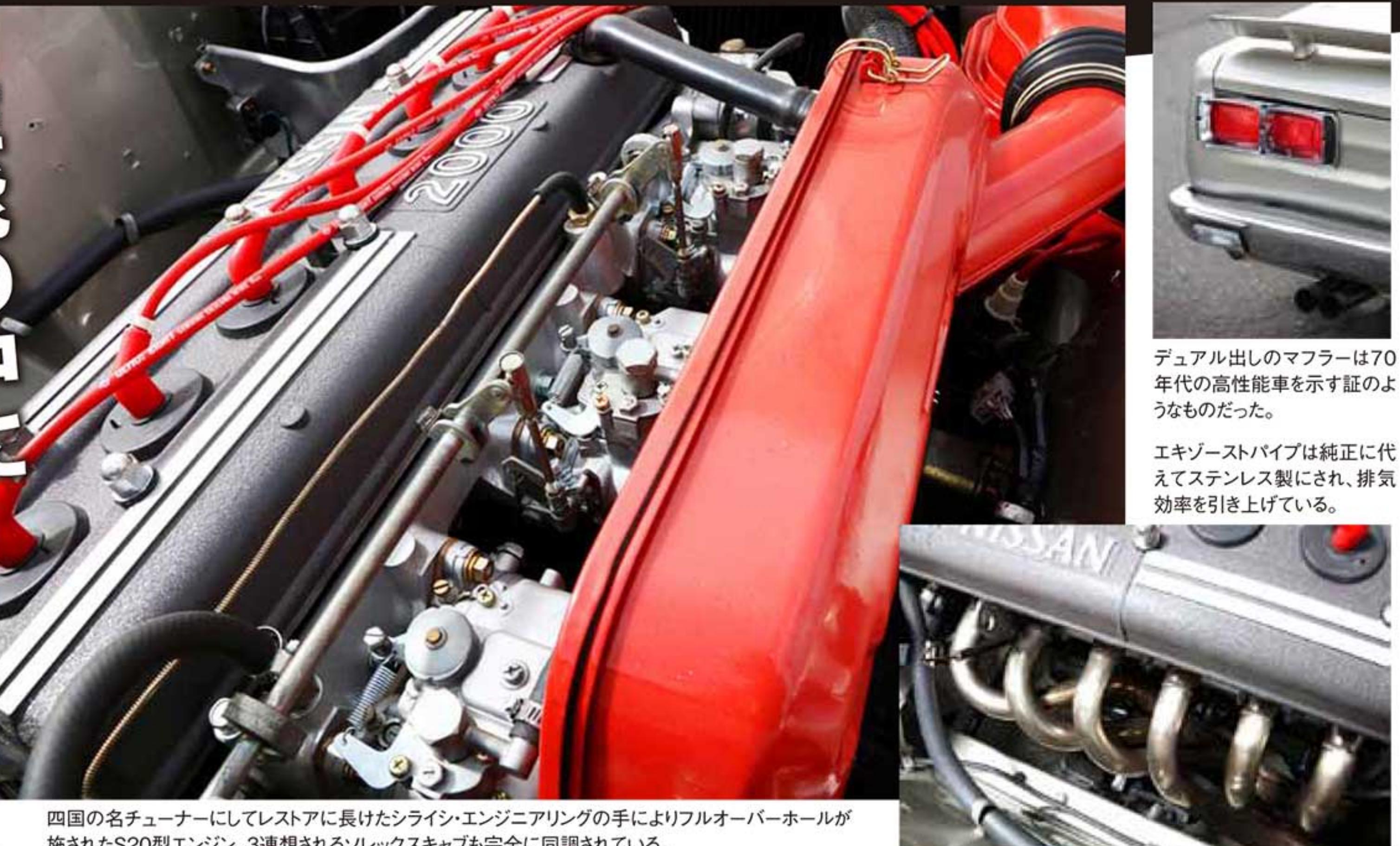
新世代RBスワップか



写真●内藤敬仁  
文●増田 満  
Photos by Takahito Naito  
Text by Mitsuhiro Masuda

SELECT YOUR ENGINE  
特集 エンジンで決める  
旧車選び。

# 高性能の 中でこ そえ秘め た名機 S-20エシジン



四国の名チューナーにしてレストアに長けたシライシ・エンジニアリングの手によりフルオーバーホールが施されたS20型エンジン。3連想されるソレックスキャブも完全に同調されている。

格を下けたものの、その後のブームで一気に人気が再燃した。

このGT-Rに関して言えば、価格に見合う以上の価値がある。名職人である四国の中古車販売店のシライシ・エンジニアリングによつて修復され、今もまだナラシ運転が必要な状態。いわばエンジンやシャーシ、ボディに関しては新車と変わらない。それだけのGT-Rはそういうあるものではないだろう。



フロントシートは左右ともにリクライニングしないフルバケットタイプを純正で採用する。現車は奇跡的に新車時のコンディションを維持する。

センターコンソールには木目パネルが装着され、古GTカーの雰囲気にあふれている。赤いシフトパタンがGT-Rの特徴。

スカイラインはどうしてここまで人の心を引き付けるのだろう。端正なスタイルやチューニングが容易にL型、しかも6気筒エンジンを搭載していたことは誰でも想像がつく。だが、なんといってもレースで強かつたからというのが最も簡単な答えだろう。

だが、クラウンが100万円で買った時代に150万円もしたDOHCエンジン搭載のGT-Rをどれだけの人が買えただろう。圧倒的に売れたのはL型エンジンと搭載するGT系であり、GT-Rは全体の数割が売れただけ。だからこそ、中古になつてからも価格を維持してきたわけで、80年代にDOHCターボで一世を風靡した6代目RSの時代には底値と言える100万円前後まで中古車価格を下げたものの、その後のブームで一気に人気が再燃した。

現在では2000万円とも3000万円とも言われるハードトップGT-Rだが、果たして価格に見合うだけの価値はあるのだろうか、というのが誰しも思うところだろう。これまで何台ものGT-Rに触れてきた印象からすれば、それは間違いない。まず、今まで極上の状態をキープするには途方もない予算が

このGT-Rに関して言えば、価格に見合う以上の価値がある。名職人である四国の中古車販売店のシライシ・エンジニアリングによつて修復され、今もまだナラシ運転が必要な状態。いわばエンジンやシャーシ、ボディに関しては新車と変わらない。それだけのGT-Rはそういうあるものではないだろう。



# NISSAN SKYLINE HARDTOP 2000GT-R

日産スカイライン HT2000GT-R

Specification	(72年式HT2000GT-R)
全長×全幅×全高	4330×1665×1370mm
ホイールベース	2570mm
トレッド前/後	1370/1365mm
車両重量	1100kg
エンジン型式/種類	S20型/水冷6気筒DOHC
総排気量	1989cc
ボア×ストローク	82.0×62.8mm
最高出力	160ps/7000rpm
最大トルク	18.0kgm/5600rpm
変速機	前進5段/後退1段
サスペンション前/後	ストラット/セミトレーリングアーム
ブレーキ前/後	ディスク/ドラム
タイヤ	6.45-14-4PR
発売当時価格	150万円



リヤにだけオーバーフェンダーを備えるハードトップGT-R。ワイドタイヤ装着を前提としていた。



リヤにだけオーバーフェンダーを備えるハードトップGT-R。ワイドタイヤ装着を前提としていた。

ラジエターグリルに装着されるGT-RのエンブレムはGTのみ赤い文字となる。上下のメッキリムが精悍さを引き立てる。

純正仕様にこだわりレストアされた極上のGT-R。

## ハコスカ対決

**L型を捨て現在の視線で見れば最適な選択肢であるRBエンジン**

RB25エンジンは2.7リッターにボアアップでNAながら迫力の加速性能を実現。ターボとは違う良さがある。

RB25エンジンは2.7リッターにボアアップでNAながら迫力の加速性能を実現。ターボとは違う良さがある。

RB25エンジンは2.7リッターにボアアップでNAながら迫力の加速性能を実現。ターボとは違う良さがある。

RB25エンジンは2.7リッターにボアアップでNAながら迫力の加速性能を実現。ターボとは違う良さがある。



エキゾーストパイプはロッキーオートオリジナルのステンレス製を装着して効率アップ。



長らくスカイラインのチューニング手法として愛されてきたのが、純正採用されたL型の排気量が異なるエンジンに載せ替えること。L型6気筒エンジンには2リッターのほかに2.4、2.6、2.8と3種類の仕様が存在。しかも見た目からは排気量が違

うことはわからないから、ルックスを損ねないので。

エンジンを載せ替えれば改造申請をしなければならない。車検証には

マル改の文字が入るので、純正と同じルックスだとしても、それは別物にな

る。であればL型にこだわる必要は

ない。とはいっても、純正と同

じで日産製にこだわりたい。する

と浮上するのが

L型に変わる新

世代6気筒とし

て開発されたRB

B型だ。純正でDOHC、さらには

ターボまで採用

されていたから、

ポンと載せるだけ

で見事なまでの

高性能化する。

しかも2リッター

のほかに2.5や

2.8ツインターボ

まで選べる。

旧車が好きだ

という人にはターボエンジンを敬遠する傾向がある。

それなら自然吸

気の2.5を選べばいい。2リッターに

はないトルクとパワーが得られ、高回

転まで回した時の楽しさはDOHC

ならでは。それでもう一つ、旧車好き

が外せないのがキヤブレーターによる燃

料供給。アクセル操作に瞬時に呼応

するレスポンスは、やはり電子制御工

程ではない魅力。だったらRB型

にキヤブを組み合わせればいい。つい

にボアアップすれば、さらに楽しい

エンジンになる。そう考えてチューニ

ングされたのが、このロッキーオートが

制作したハコスカだ。

どれだけ言葉で語るより、やはり

エンジンになる。そう考えてチューニ

ングされたのが、このロッキーオートが

制作したハコスカだ。

一度乗ついてみれば魅力は誰に

でもわかる。エンジンをかけるのに特

別な儀式は必要なく、アクセルを踏

み込めばキヤブが混合気を吸い込む

ガボッという快音とともに猛然と加

速する。しかも旧車と違つてどの回

度乗れば、その気楽さとファンなドラ

イビングのトリコになるはずだ。

もちろんボディは修復を終え、高

性能化に伴いフロントには車高調式

サスペンション、リヤにはゼロキャン

バークリップを組み込んでいる。その操

縦性はノーマルとは別物で、アクセル



フロントシートにはハコスカ純正ではなく、R32用のモノフォルムバケットを装着。長距離移動が苦にならないのがポイントだ。



撮影協力 ロッキーオート  
愛知県岡崎市小美町字殿街道153  
TEL0564-66-5488 http://www.rockyauto.co.jp

歴代スカイラインやS30フェアレディZにRBエンジンをスワップした老舗ショップ。最近ではトヨタ2000GTの忠実なレプリカを作成販売して話題を提供し続けている。ショールームは完全予約制のため、必ず事前の連絡が必要になる。ポートメッセ名古屋で開催されるオートレジェンドも主催。

フルGT-R仕様の外観とRBエンジンのハーモニー。